



「みどりの風」生き生きと

校長 高田屋 陽子

新学期を迎え子どもたちの元気な声が校内に戻ってくると校舎は急に息を吹き返したように生き生きとし始めます。校舎を見守る木々が芽吹き、桜の花が咲き始める季節、いよいよ令和7年度がスタートしました。

天王みどり学園は、平成15年に保護者の方々や地域の方々の願いのもと開校しました。開校当時は46名の児童生徒が在籍し、22年を迎えた現在、90名の児童生徒が元気に学んでいます。また、開校当初からずっと引き続き多くの地域の方々に温かな応援をいただいています。

「人は人の中で育つ」と言われますが、子どもたちの成長過程をそばで見守っていると、この言葉の意味が実感を伴って理解できます。時代がどんなに変化しても、様々な形で人とつながり、お互いに影響しあって成長していく。学校においても共に学ぶ友達や先生がいて、栄養を考えたおいしい給食を準備してくれる方々、子どもたちが学びやすい環境を丁寧に準備し整えてくれる方々、そして共に成長を見守る保護者の皆さんがいてくれる。子どもたちを中心に人の輪が広がって学校を形作っていることを感じます。そうした特別な場所である「学校」での教育活動を今年度も充実させていきたいと思ひます。